

第6節 公害紛争の処理及び環境事犯の取締り

1 公害に関する苦情

(1) 公害苦情の概要

平成16年度に県及び市町村が新規に受付した公害苦情件数は327件で、15年度より117件（26.4%）減少しました。

公害苦情件数を典型7公害（大気汚染、水質汚濁、土壌汚染、騒音、振動、地盤沈下、悪臭）に係るものと典型7公害以外（廃棄物投棄、その他）に係るものとに分けてみると、典型7公害の苦情は253件で前年度に比べて37件（12.8%）減少しました。また、典型7公害以外の苦情は74件で前年度に比べて80件（51.9%）減少しました（図53）。

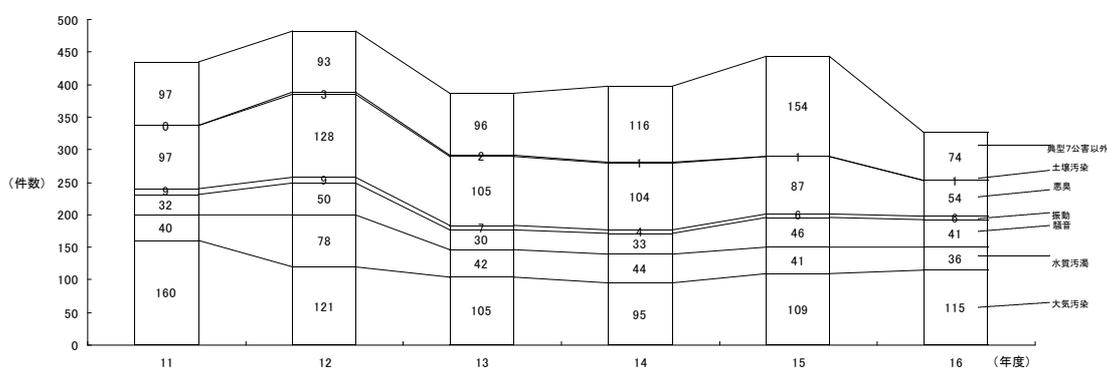


図53 公害苦情の種類別件数の推移

(2) 種類別公害苦情件数

典型7公害の苦情件数を種類別にみると、平成16年度は大気汚染が115件（典型7公害苦情件数の45.5%）と最も多く、次いで悪臭が54件（同21.3%）、騒音が41件（同16.2%）、水質が36件（同14.2%）、振動が6件（同2.4%）、土壌汚染が1件（同0.4%）となっています。

典型7公害以外の苦情件数を種類別にみると、平成16年度は廃棄物投棄が62件（典型7公害以外の苦情件数の83.8%）と最も多くなっています（図54）。

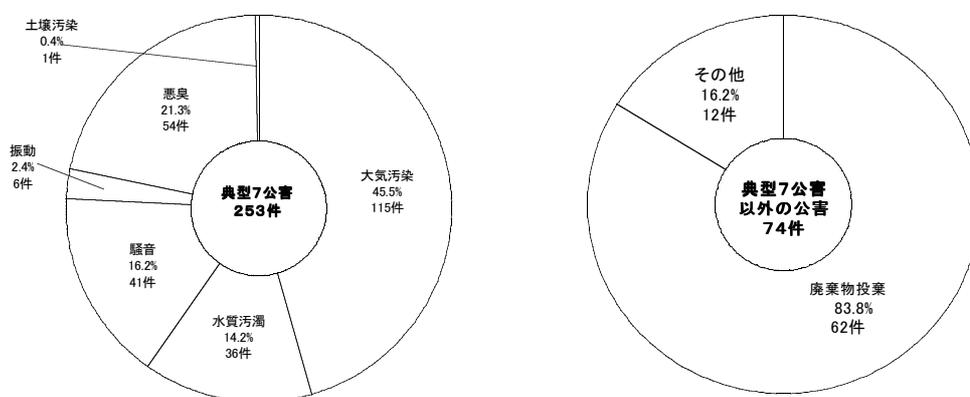


図54 公害苦情件数内訳（平成16年度）

(3) 発生源別公害苦情件数

苦情件数を発生源別にみると、平成16年度は焼却（野焼き）の81件（全公害苦情件数の24.8%）、廃棄物投棄の50件（同15.3%）、焼却（施設）29件（同8.9%）などが多くなっています。

また、典型7公害に係る苦情と発生源の関係では、大気汚染については建設業が、悪臭については製造業が、原因の多くを占める傾向が見られます（表99）。

表99 種類・発生源・発生場所別苦情件数（平成16年度）

| 公害 | 典 型 7 公 害 | | | | | | | 典 型 7 公 害 以 外 の 公 害 | | | 合 計 |
|---------------------------|-----------|---------|-----|-----|-----|---------|-----|------------------------|-------|-----|-----|
| | 大 気 汚 染 | 水 質 汚 濁 | 騒 音 | 振 動 | 悪 臭 | 土 壌 汚 染 | 小 計 | 廃 棄 物 投 棄 | そ の 他 | 小 計 | |
| 発 生 源 業 種 | | | | | | | | | | | |
| 農 業 | 2 | 6 | 1 | 0 | 4 | 0 | 13 | 0 | 0 | 0 | 13 |
| 林 業 | 4 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 4 | 1 | 0 | 1 | 5 |
| 漁 業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 鉱 業 | 0 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 2 | 1 | 0 | 1 | 3 |
| 建 設 業 | 14 | 0 | 5 | 2 | 1 | 0 | 22 | 5 | 0 | 5 | 27 |
| 製 造 業 | 9 | 8 | 4 | 0 | 7 | 1 | 29 | 0 | 0 | 0 | 29 |
| 電 気 ・ ガ ス ・ 熱 供 給 ・ 水 道 業 | 1 | 0 | 1 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 情 報 通 信 業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 運 輸 業 | 2 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 卸 売 ・ 小 売 業 | 1 | 2 | 2 | 0 | 3 | 0 | 8 | 1 | 0 | 1 | 9 |
| 金 融 ・ 保 険 業 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 1 | 1 |
| 不 動 産 業 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 飲 食 店 ・ 宿 泊 業 | 1 | 4 | 5 | 0 | 1 | 0 | 11 | 0 | 0 | 0 | 11 |
| 医 療 ・ 福 祉 | 0 | 0 | 2 | 0 | 1 | 0 | 3 | 0 | 0 | 0 | 3 |
| 教 育 ・ 学 習 支 援 業 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| 複 合 サ ー ビ ス 事 業 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 | 0 | 0 | 0 | 1 |
| サ ー ビ ス 業 | 1 | 2 | 2 | 0 | 4 | 0 | 9 | 0 | 2 | 2 | 11 |
| 公 務 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 | 0 |
| 分 類 不 能 の 産 業 | 1 | 1 | 1 | 0 | 0 | 0 | 3 | 1 | 0 | 1 | 4 |
| 合 計 | 37 | 25 | 26 | 2 | 22 | 1 | 113 | 9 | 3 | 12 | 125 |

※発生源が「会社・事業所」の苦情が対象

(4) 公害苦情の処理状況

公害苦情の処理については、現地調査等により、発生源に対して公害防止施設の設置及び改善、原因物質の撤去・回収・除去等の措置を講じさせるなどして、その解決に努めています。

平成16年度の苦情の処理率（受付した苦情から他へ移送された苦情件数を除いた件数のうち、直接処理された苦情件数の割合）は92.5%でした（表100）

表100 公害苦情処理状況（平成16年度）（単位：件）

| 受付件数 | | 処理件数 | | | |
|------|---------|------|------|-----|-------|
| 新規受付 | 前年度から繰越 | 直接処理 | 他へ移送 | その他 | 翌年度繰越 |
| 334 | 18 | 309 | 11 | 4 | 21 |

(5) 公害苦情相談員の設置状況

県及び市町村において公害苦情処理に関する事務を担当する公害苦情相談員等の設置状況は表101のとおりです。

表101 公害苦情相談員の設置状況（平成16年度）

| 区分 | 公害苦情相談員 | | その他 | | 合計 |
|-----|---------|-----|-----|------|------|
| | 専任 | 兼任 | 専任 | 兼任 | |
| 市町村 | 0人 | 26人 | 0人 | 110人 | 136人 |
| 県 | 0人 | 11人 | 0人 | 36人 | 47人 |
| 合計 | 0人 | 37人 | 0人 | 146人 | 183人 |

（注）公害苦情相談員：公害紛争処理法（昭45 法律108）第49条第2項の規定に基づき、知事や市町村長が苦情の処理等の事務を行わせるために置いている職員。

(6) 警察における公害苦情処理状況

県内各警察署で受理した平成16年中の公害苦情受理件数は252件で、前年より88件減少しました。

態様別では、例年騒音苦情が最も多く、平成16年中の件数は222件で全体の約88%を占めており、次いで廃棄物12件、水質汚濁9件などとなっています。

騒音の発生源は、道路、広場等での車両音や人声が最も多く、次いで個人住宅やアパートでの人声、飲食店などでのカラオケなどの音響機音などとなっています。

これらの公害苦情に対する処理状況は、警告・指導が219件で全体の約86%を占め、その他は、行為者不明などの理由による措置不能26件などとなっております。また、悪質と判断した2件の苦情行為については事件として検挙しています。

公害苦情処理状況の内訳は表102のとおりです。

表102 警察における公害苦情処理状況（平成16年）

| 態様別 処理状況 | 大気 汚染 | 水質 汚濁 | 土壌 汚染 | 騒音 | 振動 | 悪臭 | 廃棄物 | その他 | 合計 | 15年 | 増減 |
|-------------|----------|----------|----------|-----|----|----|-----|-----|-----|-----|-----|
| 話し合い解決 | | | | 1 | | | | | 1 | 7 | △6 |
| 警告 | | 6 | 1 | 200 | 4 | 1 | 6 | 1 | 219 | 266 | △47 |
| 検挙 | | | | | | | 2 | | 2 | 7 | △5 |
| 措置不能 | | 2 | | 21 | | 2 | 1 | | 26 | 46 | △20 |
| 検討中 | | | | | | | | | | 3 | △3 |
| 他機関へ通報 | | 1 | | | | | 3 | | 4 | 11 | △7 |
| 合計 | | 9 | 1 | 222 | 4 | 3 | 12 | 1 | 252 | 340 | △88 |
| 15年 | 4 | 11 | 1 | 284 | | 4 | 25 | 11 | 340 | | |
| 増減 | △4 | △2 | | △62 | 4 | △1 | △13 | △10 | △88 | | |

2 公害に関する紛争の処理

公害に係る紛争については、民事訴訟による司法的解決とは別に、紛争を迅速かつ適切に解決するため公害紛争処理制度が設けられています。

昭和45年6月に制定された公害紛争処理法に基づき、国においては公害等調整委員会が裁定、あつせん、調停及び仲裁を行い、都道府県においては公害審査会があつせん、調停及び仲裁を行います。

本県においては、昭和45年11月に秋田県公害紛争処理条例が施行され、秋田県公害審査会が設置されています。平成16年度は、係属事件はありませんでした。

3 環境事犯の取締り

(1) 取締りの重点

警察では、県民の生活環境を破壊し、日常生活と健康を脅かしている悪質な環境犯罪を未然に防止するとともに、悪質な違反者を摘発するため、平成12年から実施している「美の国あきたクリーン作戦」を継続して行い、特に、

- ① 廃棄物の不適切処理事犯
- ② 自然環境を破壊する事犯
- ③ 生活環境を侵害する事犯

の違反に重点を置いて強力な取締りを推進しました。

(2) 事件検挙状況

平成16年中の環境事犯に関する事件の検挙総件数は217件で、前年に比較して21件増加しました。

その中でも、ゴミの不法投棄や不法焼却を禁止している「廃棄物の処理及び清掃に関する法律違反」の検挙が206件と突出して多く、検挙総件数の約94%を占めておりました。

その他には、魚介類の不法採捕を禁止した「漁業法」、植物の盗伐などを禁止した「森林法違反」、「自然公園法違反」などの検挙がありました。

平成16年中の検挙状況は表103のとおりです。

表103 環境事犯の検挙状況

| 年 別 法令別 | 平成16年 (件) | 平成15年 (件) | 増 減 (件) |
|-----------------|--------------|--------------|------------|
| 合 計 | 217 | 196 | 21 |
| 廃棄物処理法違反 | 206 | 184 | 22 |
| 漁業法違反 | 6 | 7 | △ 1 |
| 河川法違反 | 1 | 3 | △ 2 |
| 森林法違反 | 3 | | 3 |
| 自然公園法違反 | 1 | | 1 |
| 文化財保護法違反 | | 1 | △ 1 |
| その他(建設リサイクル法違反) | | 1 | △ 1 |